

## 学びの姿の見取り 児童の姿で語り合うための工夫③授業観察用紙

校内研究会で児童の姿から話をしていた教員は、授業を見るときに児童の様子をたくさん記録していました。これをヒントに、指導案とは別に、児童の姿を時系列で記録できる用紙をたっぷり印刷しておき、自由に使えるようにしました。

自分で記録したことで、記憶にも残りやすく、活発に話すことができました。



授業記録を見ながら児童の姿を振り返る様子

これまで記録があまりできていなかったり、授業者の手立てしか記録できていなかったりした教員が、抽出児童を中心に児童の姿をたくさん記録するようになってきました。そのことで、校内研究会では「あのとき〇〇くんは△△と発言していて・・・」と、記録を基に児童の具体的な姿から話す様子が見られるようになりました。グループ協議でも、ベテラン、若手問わず、同じ土台(児童の姿)で協議することができ、より活発な校内研究会になりました。(B小学校 校内研究主任)